

わくわく



令和6年度
第1学年だより

明日からいよいよ子どもたちが楽しみにしている冬休みです。2学期はたくさんの行事を経験し、成長できた学期となりました。冬休みは、短いですが、家庭の中での年末年始の行事に積極的に参加して、いろいろなことに挑戦する休みにしましょう。新しい気持ちで3学期が迎えられよう、新年の抱負などをご家族で話し合ってみてください。2学期も、いろいろとお世話になりました。健康に留意してご家族でよいお年をお迎えください。



★冬休みの課題★

《必ずやるもの》

- ・ウインタースキル（かんじ・けいさんドリル）
- ・給食カルタ（クレヨンやマジックで描き、絵の具で背景を塗る）
- ・ふゆ休みひとことにつき
- ・生活科「じぶんでできることをしよう」2枚
- ・なわとびの練習（黄色カードに練習した日付を記入）
- ・読書（読書ノートに感想を書く。）
- ・お道具箱・筆箱の整理整頓

《自主的に取り組むもの》

- ・書き初め（申し込んだ人）（出品料50円）
 - ・カタカナ練習
 - ・漢字練習
 - ・計算練習
 - ・時計の読み方練習
 - ・eライブラリー（パスワードは、家庭用ICTファイルについていますご家庭の端末で実施してください）
 - ・新年のちかい（家庭用・フェルトペンで記入）
 - ・自主学习 など
- *1/14（月）に学力テスト（標研式）があります。ここまでの学習のおさらいをしましょう！



＜冬休みの宿題のお願い＞

- ①宿題の丸付けにご協力ください。（間違い直しもさせてください。）
- ②給食カルタは、別紙を参照の上、ご家庭で完成させてご提出ください。
- ③生活科「じぶんでできることをしよう」カードは、お手伝いでやった家庭の仕事の感想を書きましょう。
- ④「なわとびチャレンジカード」にも記録をお願いします。跳べた数を数えて色塗りさせてください。
- ⑤読書をしたら、読書ノートに感想を書かせてください。
- ⑥自主学习にも進んで取り組みましょう。特に、カタカナ漢字、時計の読み方など予習復習をしっかりとやっておきましょう。
- ⑦「新年のちかい」は、家庭で立てて掲示しておきましょう。（提出はしなくてOKです）



◎冬休みの生活についての連絡

1 健康・安全に十分注意しましょう

- ・冬休みの過ごし方（別紙）を参照してください。
- ・自転車の乗れる範囲は、1・2年生のうち「家の近くの安全な場所」です。家の人の目が離れないようにしましょう。乗るときは必ずヘルメットを着用させてください。
- ・お金の使い方を考えましょう。ご家庭できちんと話し合い、子どもが持つ場合は、最低限の金額だけにしましょう。
- ・子どもの交友関係や遊ぶ場所を今一度ご確認ください。特に最近ではSNSやオンラインゲーム内でのトラブルも頻発しています。必ず保護者の管理下で扱わせましょう。

2 冬休み中の緊急連絡先について

- 12月29日（日）～1月3日（金）までの間は、緊急連絡先は下記の通りとなります。
0280-57-4111（AM8:30～PM5:15、緊急用野木町日直室）
- 上記以外の期間はこれまで同様に、以下の番号が緊急連絡先となります。
月～金 学校 56-0888
土・日 学校 080-6795-2709



始業式 1/8（水） 8:05 登校 ※3時間授業（給食なし） 下校 11:30

《持ち物》

- れんらくぶくろ
- れんらく帳
- ふゆ休みに学しゅうしたもの
- 読書ノート
- 上ばき
- ふでばこ
- としよの本3さつ
- 赤白ぼうし
- こくごの教科書
- おどうぐばこ（ひき出し）
- 給食カルタ

【人権コーナー】

12月は、人権週間がありました。1年生にとって「人権」は少し難しいかもしれませんが「誰もが持っている毎日幸せで楽しく生きる権利」とお話しし、どんな理由であっても人に嫌な思いをさせたり、させられたりすることはあってはならないことと分かりやすく指導しました。

① キラリ☆カードの実践

1年教室では、毎日帰りの会に友達のよいところを発表する「今日のキラリ☆さん」を実施しています。人権週間には、それに加えてクラスの友達のよいところをカードに書いてみんなにプレゼントしよう！と企画し、できるだけたくさん友達のよいところをプラスのほめ言葉「ふわふわ言葉」で書きました。2学期最後のクリスマスプレゼントとして持ち帰りましたので、お子さんと一緒にぜひ読んでみてください。（1年生らしい言葉の言い回しにより、多少の失礼な部分はお容赦ください・・・）お子さんが、友達の中で認められている実感をもてるよう、おうちの方からもたくさんほめてあげてください。

② 直接的指導 学活「男の子・女の子」の実践

10月には、学活で話し合いの授業を実践しました。



DVD「男らしい色？女らしい色？」

《あらすじ》 ピンクの大好きな男の子、健太。ある日、友達と文房具屋さんでピンクの色鉛筆を手にとったところを「男のくせに」「変なの！」と馬鹿にされにされてしまいます。そこで、色鉛筆たちは、作戦を立てて好きな色を「男だから」「女だから」という理由で変えなくてもよいことを子どもたちに気付かせてくれるのでした。

授業後の子どもたちの振り返りより（抜粋）

- 男でも女でもかんけいなく、好きなものを「いいね」っていえるようにしたい。
- 男の子でも「ピンクが好き」という人もいることがわかった。
- なんのいろが好きなともだちにも、「きれいだね」っていえるようにしたい。

意外に、凝り固まった考えに捉われているのは大人の方かもしれないなあ、、と担任も考えさせられました。

プログラミング学習

プログラミングの授業を実施しました。とは言ってもICT機器を使用したものではなく、アンプラグド（デジタル機器にはつながずに）で実施するプログラミングです。今回は生活科で、自分の朝のルーティンを効率よく並べ替える作業を通して、自分のタスクを順番立てて考えたり、もし雨の日は？など、場合によって違うタスクになることを考えたりしました。プログラミング教育では、論理的に考える力を身に付けることを目的としています。現代を生き抜く子どもたちには、これも必要な力ですね。



おねがい

- ・自転車点検票、ありがとうございました。学校名の入った金色シールをお配りしましたので、自転車に貼っておいてください。

Merry
Christmas

良いお年を
お迎え下さい